

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2019.4.4 No.332

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

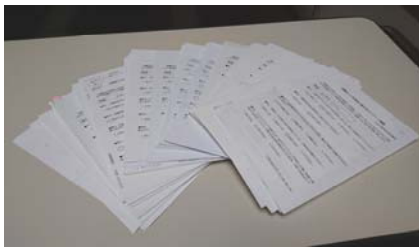
杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

区民のくらしと商店の営業を守るために 消費税10%増税にストップを!



党区議団アンケート 8割が増税反対・延期

日本共産党区議団は、区内商店への聞き取り調査を実施。300件を超える商店から回答を頂きました。



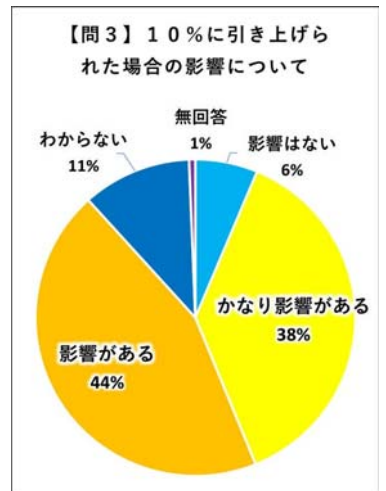
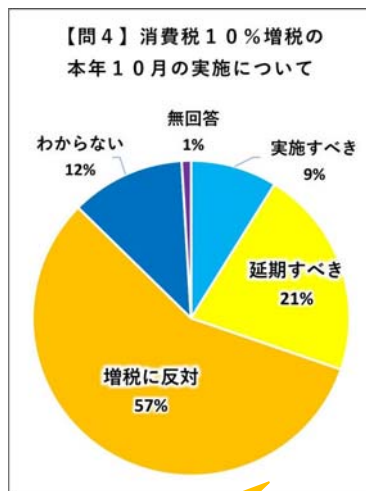
徹底調査により、消費税増税の影響を調査。

区長に増税中止表明を迫る

安倍政権による消費税10%増税は、区民のくらしも地域経済も破壊します。私は第一回定例会代表質問において、田中区長に増税中止を政府に求めることを迫りました。

10月の増税をストップさせるため、全力を尽くします。

10%増税について「影響がある」は8割をこえ「増税反対」「延期すべき」も8割にのぼりました。区長も「売上への影響を心配する声は承知している」と認めざるをえませんでした。区議会で、商店の声を示し増税中止表明を迫ったのは、日本共産党だけでした。



300件を超える区内商店から寄せられた消費税10%増税に関するアンケート

消費税5%増税以降の小売店数	
1997年	5121店
消費税5%実施	
2016年	2500店

5%で区内店舗数は半減 増税中止・延期の声広がる

消費税5%増税の結果、区内の小売店舗数は、5121店から2500店に半減しています。

日本共産党は、商業統計の驚くべき結果を示し、増税が商店にいかほど深刻な影響をもたらしたかを示し、区長に中止表明を求めました。

いま各界から10月の増税は中止・延期すべきとの声が上がっています。区長も「景気の減速を懸念する声がある」ことは認めましたが、国が「適切に判断すべき」として、国追従の姿勢を示しました。区民生活、地域商店を守る姿勢が必要です。

10月からの消費税10%増税

いまからでも、やめさせられます！

政府発表でも 景気は後退局面に

3月7日の内閣府発表で、政府は景気判断を「足踏みを示している」から「下方への局面変化を示している」と引き下げました。この表現を使うのは4年2カ月ぶりです。この結果は10%増税強行の根拠が崩れたことを示すものです。

10%増税 4つの大問題

- ① 深刻な消費不況のもとで増税を強行していいのか。
- ② 増税延期を決めた2年半前に比べても、日本経済は悪化し、世界経済のリスクも高まっている。
- ③ 毎月勤労統計の不正によって、昨年の賃金の伸び率が実態よりもかさ上げされていた。
- ④ 消費税増税に対する「景気対策」が異常に奇々怪々なものとなったことへの批判が広がっている。

選挙で審判を

「増税は決まったことだから」とあきらめる必要はありません。増税実施に対して中止を求める声は急速に広がっています。

選挙で安倍政権にきびしい審判を下し、増税を中止に追い込みましょう。

各界からも広がる

10%増税延期・中止の声

○元内閣官房参与藤井聡京大教授「10%への税率の引き上げは日本経済を破壊する」

○セブン&アイ・ホールディングス名誉顧問鈴木敏文氏（「文藝春秋」）「いまのタイミングで消費税を上げたら、間違いなく消費は冷え込んでしまうでしょう」

区内商店 個店への支援を提案

日本共産党区議団は、昨年の予算特別委員会、今年の私の代表質問で商店街への支援の強化とともに、個々の商店への個別支援を提案しました。

杉並区の商工費は23区でも極めて低い

いま全国的に個店支援強化の努力が広がっています。東京でも、生鮮三品を扱うお店に対し、店舗改修などに最大で200万円助成（江東区）などの努力が始まっています。

一方、杉並区の予算総額に占める商工費の割合は、23区のなかで最低レベルです。日本共産党は、他区で行われている取り組みを提案するとともに、商店支援のために予算増額を求めてきました。

「商店街の皆様と検討を進める」と答弁

区長は、代表質問への答弁で、商店街活性化策について「商店街の皆様と検討を進めていく」、「他自治体の取り組みも参考に議論してまいります」と答弁しました。

各区の個店支援事例

- 江東区
生鮮三品を取り扱う店舗の改修経費や設備購入費の一部を補助。
- 練馬区
店舗の魅力向上させる改修に支援。
- 文京区
空き店舗において創業される方に家賃助成や経営相談を実施。
- 大田区
繁盛店をめざし専門家の提案をうけ店舗改修する場合、費用を助成。
- 台東区
商店街加盟店の自慢の逸品・サービスをPRする媒体の作成・配布を支援。等々

育メン日誌

もう一つの顔

選挙目前で毎朝の駅頭宣伝、夕方宣伝等の回数が増えています。知り合いの保護者に出会う機会も多く、普段の山田父と異なり、政治家モードの姿にびっくりする親が多いようです。知人と出会えば、すかさず握手をするのですが「お～!？」「びっくりした！」など驚かせてしまいます（苦笑）。申し訳ない限りですが、これも山田父のもう一つの顔です。こうした機会を通じて区政に関心を持って頂ければ、大変嬉しいです。



息子は学童でラブリに通っています。いるため春休み中は毎朝弁当作り。給食はありがたい。